

# 田舎のたしなみ。【2月】

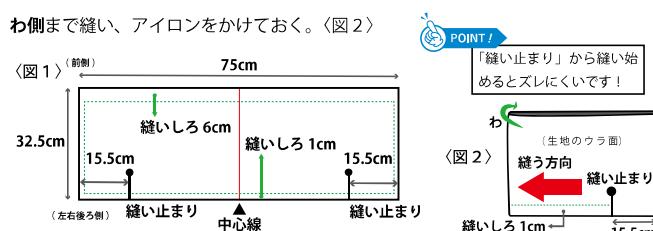
## 【ほっかぶり】

### 【材 料】

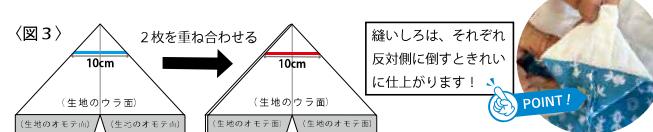
日本タオル（てぬぐい） 2枚 (75cm×32.5cm)  
平ゴム 1本 (8mm幅・長さ32cm)  
ひも 2本 (長さ23cm)

### 【作り方】

- ① 日本タオル2枚をそれぞれ〈図1〉の型紙どおりに裁断する。
- ② 本体2枚それを中表に中心線で折って、1cm幅の縫いしろで縫い止まりからわ側まで縫い、アイロンをかけておく。〈図2〉



- ③ ②の本体2枚それぞれのわ側の先を三角に割って、横に縫う。〈図3：アオ線〉  
2枚重ね合わせて、同じ位置を重ね縫いする。〈図3：アカ線〉



- ④ 本体を図のように中表にして、10cmのあきを作つて端まで縫う〈図4：アオ線〉。  
次にぐるりと端まで縫い合わせる  
〈図4：ミドリ線〉。
- ⑤ 縫い終わつたら、縫いしろを倒してアイロンをかける。あきを使って表に返して再度アイロンをかける。

- ⑥ 丈夫にするため、全体に端ミシンをかける〈図5：アオ線0.2cm〉。  
次に〈キヨロ線1.5cm〉と〈アカ線5cm〉、下側の  
位置に〈ムラサキ線0.5cm〉のステッチをかける。
- ⑦ ゴムは、マチ針3本で下止めをしてから、  
ゴムを伸ばしながら縫いつける。ひもは下から  
6.5cmの位置につける。〈図6〉



日本タオルでつくる昔ながらのほっかぶり  
家に眠っている日本タオル（手ぬぐい）や、あまり布を使ってみませんか？

市生活研究グループでは、農山漁村で暮らす人々が自分たちの生活をより豊かにするため、生活中で生まれ出した「生活の知恵（旬の食材の保存方法や、便利な道具の開発など）」を研究し、伝承しています。このコーナーをご覧いただき、ぜひ皆さんの日々の生活にご活用ください。

■問い合わせ先 [市農政畜産課農政グループ](#)  
Tel. 474-1111 (内線164)

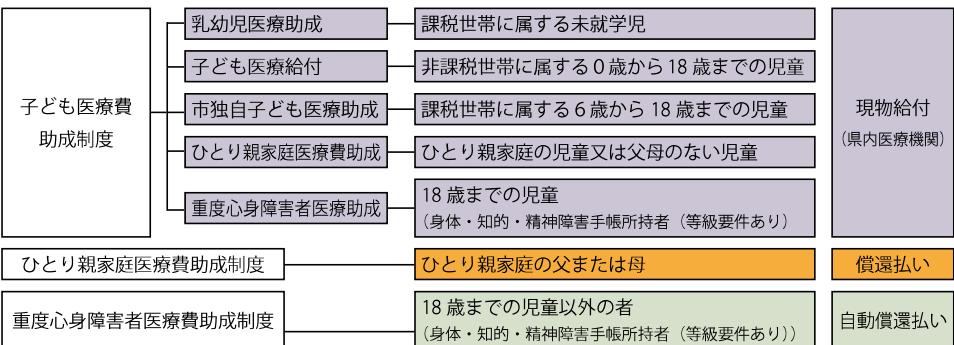
## TOPIC

# 令和7年4月から子ども医療費助成制度が変わります ～県内の医療機関などを受診の際、窓口での支払が不要になります～

### 【現在】



### 【変更後】



### 【気になる言葉の解説】

- 18歳まで：18歳に達する日以後の最初の3月31日まで
- 自動償還払い：市窓口へ助成金交付申請書の提出の必要がなく、診療月の翌々月の第4水曜日に指定された口座へ自動的に助成金が振り込まれる制度
- 現物給付：県内医療機関などにおける健康保険適用内の医療費の窓口負担をなくす制度
- 償還払い：市窓口で助成金交付申請書の提出をしていただき、申請月の翌月の第4水曜日に指定された口座に助成金が振り込まれる制度

### 【留意事項】

- 今回の改正による市役所窓口での手続きは必要ありません。  
令和7年3月中旬に、対象となる方には新しい受給者証の送付を予定しています。
- 県外の医療機関を受診した場合、本市の受給者証は使えませんので医療機関窓口でマイナ保険証（健康保険証）を提示し、医療費の2割または3割をお支払いください。その領収書を持参され本市窓口へ申請することで後日、保険適用内の医療費が子ども医療費として登録されている口座に支給されます。
- ※ 健康保険適用外の医療費は対象外です。医療機関窓口でお支払いください。
- ※ 子ども医療費助成制度を利用せず、スポーツ保険などの申請を行う際は窓口での負担が発生します。
- 問い合わせ先：[市こども子育て課 子育て支援グループ](#) Tel. 472-1111 (内線287)